



祝祭日には



を掲げましょう

金山町町制施行100周年記念企画

わたしの願い

金山町町制施行100周年を迎えるにあたり、「わたしの願い」をテーマに町民の方々からご寄稿いただきました。これをきっかけに皆さんも今の自分をみつめ、金山町の未来について考えてみませんか？

地域での相談・見守り役として

金山町民生委員・児童委員協議会 会長 ^{まさの}正野 ^{けんいち}賢一さん



金山町の民生委員・児童委員は、地域担当の委員17名と主任児童委員2名の19名で活動しています。人口減少や少子化、高齢化が予想を上回るスピードで進んでおり、経済や健康面、住宅環境、雪処理など、生活するうえで様々な問題に直面しています。地域担当の委員は、自らも住民の一員として、これらの様々な相談に応じ、行政をはじめ適切な支援やサービスへの「つなぎ役」としての役割を果たすとともに、高齢者や障がい者世帯等の見守りや安否確認などを行っています。主任児童委員は学校等と連携し、子育て支援や児童健全育成などに取り組んでいます。なお、私達委員には法に基づく守秘義務があり、相談内容等の秘密は守られますので、困ったこと、悩んでいること等があったら、気軽に相談してください。新聞に、こんなコラムが載っていました。「老いはマイナスの印象が強いが、65～80歳頃を「黄金の日々」という人も多い。仕事や社会的責任、子育て等から軽減・解放されて、自分の時間が増えるためだ。物忘れが多くても、細々したことや嫌なことも直ぐ忘れる力が付き、神経質でなくなった。と考えることもできる・・・。」人生、もう少し楽に過ごしてもいいのでは。

一人一人が活気を

もがみ北部商工会青年部 金山支部 支部長 ^{みうら}三浦 ^{ゆうしん}祐真さん

新しいことを試す・チャレンジする。今年の私のテーマです。今年は「釣り」をやってみます。人生で3回しか釣りをしたことがないのですが、今年は安価な釣り竿でも手に入れて釣りをしてみようかと考えています。一人一人が自分らしく生きる。好きなことや、やりたいことをやる。この町に住む人達が自分らしく生き、やりたいことをすれば人口が減ったとしても活気はあると私は考えています。人口が減ることに目をやるよりも自分に何かを足していくことに時間を使いたいです。商工会青年部に属していると沢山の人のに出会います。ビジネスのこと、遊びのこと等、会うたびに様々なことを話します。誰かと会って話す事、それ自体が大きな刺激をもたらします。そして自分にプラスしているのです。町制施行100年の機運が高まっているこのタイミングで、あなたも何かを始めてはどうでしょうか？簡単なことで良いですし、やってみて違うなと思ったらやめれば良いので年齢を問わず誰でも出来ます。好きなこと、やりたいこと、新しいことをして自分らしさに磨きをかけて町民一人一人が活気に溢れる、そんな町になったら嬉しいです。



編集 後記

田屋の一本校の開花に合わせ、4月26日から28日までの3日間、金山町町制施行100周年記念式典に向けた「100周年記念映像」の春の撮影が町内で行われました。今回の撮影では田屋の一本校や番楽、歌舞伎の練習の様子、金山・明安・有屋・中田小学校の卒業生の皆さんのポートレートなどを撮影し、約40名の町民の方々よりご協力をいただきました。連休前のお忙しい中、また仕事の合間や休日にも関わらずご協力いただきました誠にありがとうございます。町民の皆さんの心に残る記念映像になるよう、引き続き制作関係者一丸となって頑張ります！

金山町の人口は、4,779人（4月末現在）

	男性	2,367人（－8）
	女性	2,412人（－4）
	世帯数	1,707世帯

▼4月の異動	
出生	1人
死亡	7人
転入	13人
転出	19人